

アスクル、「ダイバーシティ宣言」で、企業理念の実現と企業価値の向上へ Diversity for Vitality 多様性をアスクルと社員の相互成長とイノベーションの活かに

アスクル株式会社(本社:東京都江東区、社長:岩田彰一郎、<http://www.askul.co.jp/>、以下アスクル)は、2015年3月24日に豊洲本社で開催したダイバーシティ推進キックオフ・ミーティングにおいて「アスクル ダイバーシティ宣言」を行い、「Diversity for Vitality (ダイバーシティ・フォー・バイタリティ)」のスローガンのもと、アスクルグループにおけるダイバーシティ推進の積極的な取り組みをスタートいたしました。

アスクルは、2014年10月に人事本部内に「ダイバーシティ推進部」を設置し、女性管理職者1名、女性担当者1名を新たに配置するなど「アスクル ダイバーシティ宣言」実施に向けた準備を進めてまいりました。多様性が生み出す活力をアスクルと社員の相互成長とイノベーションの源泉として、お客様満足度・社会的評価と認知度・従業員のモチベーション・組織のエンゲージメントを向上させ、企業理念の実現と企業価値の向上につなげてまいります。

具体的には、意志ある多様な人材一人ひとりが自分らしい貢献を楽しむことができる組織文化の醸成を目指して、社長をはじめ役員をメンバーとする「ダイバーシティ推進ステアリングコミッティ」、活動の母体となる「6つのタスクフォースチーム」を設置し、①女性をはじめとする多様な人材の活用 ②多様な働き方の促進 ③多様性享受の組織風土醸成を推進する活動を開始いたしました。

同時に、企業理念・ミッション・マインド(価値観)・プリンシプル(行動原則)から構成される「ASKUL WAY」を進化&深化させ、ダイバーシティ推進についての基本的な考え方をプリンシプル(行動原則)でより明確に示し、企業理念「お客様のために進化する(Innovate for Customers)」の実現に向けて忘れてはならない行動として位置づけ、公開しました。

ASKUL WAY【プリンシプル(行動原則)】より抜粋 (<https://www.askul.co.jp/kaisya/company/dna.html>)

Diversity for Vitality
多様性を会社と社員の相互成長とイノベーションの活力とする。

異なる文化、国籍、信条、人種、性別や考え方の多様性を尊重し、お互いに謙虚に学び合い、一人ひとりを受け入れ、協働することから育まれる組織風土が、新たなイノベーションの源泉となります。また、異なった価値観からのさまざまなアイデアや意見を取り入れていくために、自由闊達なコミュニケーションを奨励し、組織の創造性を高めていきます。一人ひとりが自分らしい貢献を楽しむこと、それを活力とする組織文化を育てていくことが、会社の活力となり成長に結びつくという考えを、私たちは大切にします。

ダイバーシティ推進 キックオフ・ミーティング



ダイバーシティ推進活動を経営の意志として全社に周知するため実施。男性・女性社員、管理職・一般社員など制限を設けず、希望する社員が参加し、ダイバーシティ推進の主旨や意義を経営トップから社員に向けて発信した。

News Release



アスクルは「お客様のために進化する」という企業理念のもと、さまざまなイノベーションを実現してきました。2012年10月にサービス提供をスタートした「LOHACO(ロハコ)」は、その社会的使命を果たしていくための事業のひとつとして、働く女性を支援してダイバーシティを推進するとともに、その親世代にあたる高齢者の方々が買い物に不自由しない社会のインフラを目指しています。

アスクルはこれからも、多様性から生まれる力を活力として、既成の枠組みや常識に挑戦し、最先端のテクノロジーによって便利な社会を実現することにより、すべての人をもっと幸せにしていくために、まずはアスクルと社員がダイバーシティを推進することで進化してまいります。

※本リリースに掲載の情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。